

新日軽 ニューエクジスフェンスDS型 取付説明書

取付説明書番号 ME-1747

改-2

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為この取付説明書をお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

施工上のご注意

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

- (1) モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- (2) モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品の表面に流れないように注意してください。
- (3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- (4) 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- (5) アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- (6) 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- (7) 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- (8) 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。
- (9) 基礎施工の際は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
- (10) 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。

* 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

この取付説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。		「必ず行なっていたくこと」を示しています。

注意

- フェンス本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- フェンスをみだりに改造、変更しないでください。
- 本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。

使用上のご注意について

- フェンスに鉢等は、絶対に掛けしないでください。
- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール(水でうすめたもの)には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は、使用しないでください。

- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- フェンスに電線等を直接載せないでください。

- フェンスの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近付けたりしないでください。

梱包明細

梱包明細

表内の()は個数を表わしています。

自在柱式		間柱式	
名称	内容	名称	内容
フェンス本体	本体(1)・取付説明書[ME-1747](1)	フェンス本体	本体(1)・取付説明書[ME-1747](1)
操作部品セット	操作レバーR(1)/操作レバーL(1) φ6×16トラス小ネジ(2)/φ4×8トラス小ネジ(4) ストッパーピン受金具(1)	操作部品セット	操作レバーR(1)/操作レバーL(1) φ6×16トラス小ネジ(2)/φ4×8トラス小ネジ(4) ストッパーピン受金具(1)
自在柱	自在柱(1)・上部固定金具(1)/φ4×10トラススタッピン3種(1) ジョイントスリーブ(2)/φ4×10トラススタッピン1種(4)	端柱	端柱(1)・柱キャップ(1) 上部ブラケット(1)・下部内部ブラケット(1)・φ4×14トラススタッピン
エンドキャップ	エンドキャップ(4)・φ4×10トラススタッピン1種(4)	間柱	各柱(1)・上部ブラケット(2) 下部内部ブラケット(2)・柱キャップ(1) φ4×14トラススタッピン1種(5)・*コーナー継手キャップ
格子付コーナーヒンジ 目隠しコーナー継手	格子付コーナーヒンジまたは目隠しコーナー継手(1) φ4×10トラススタッピン1種(4)	90°角柱 角度自在角柱	

*コーナー継手キャップは「角度自在角柱」のみに梱包されています。

●別売部品

名称	内容
連結部品	ジョイントスリーブ(2) φ4×10トラススタッピン1種(4)

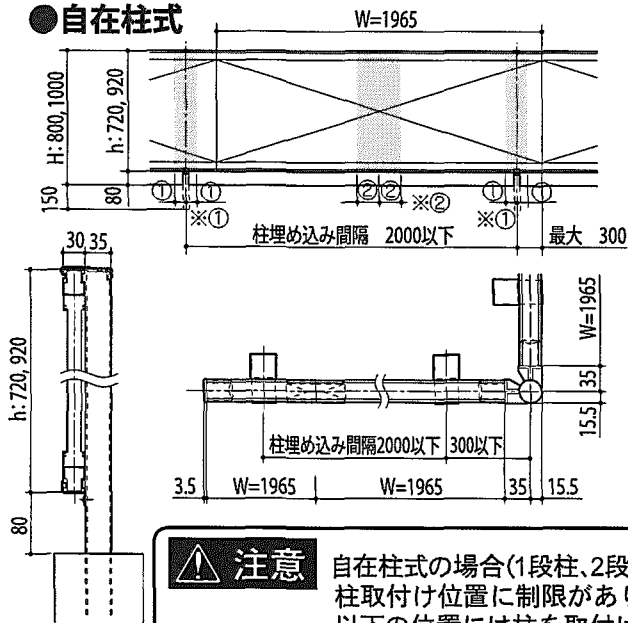
※連結部品は「自在柱式」のみに使用します。

●操作セット

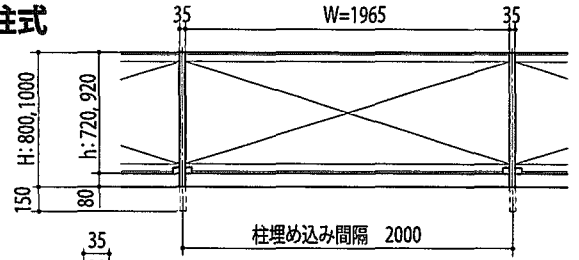
名称	内容
操作部L	操作部L(1)
操作部R	操作部R(1)
取付ネジ	十字穴付トラス小ネジM6×16L(2) (生地)
	十字穴付トラス小ネジM4×8L(4) (生地)
ストッパー部	ストッパーピン受け金具(1)

納まり図

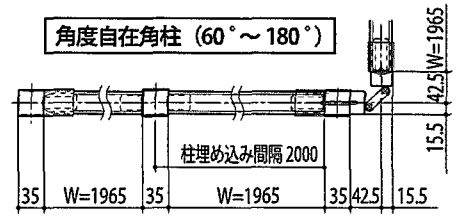
●自在柱式



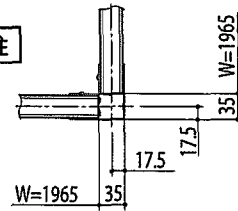
●間柱式



●角度自在角柱 (60° ~ 180°)

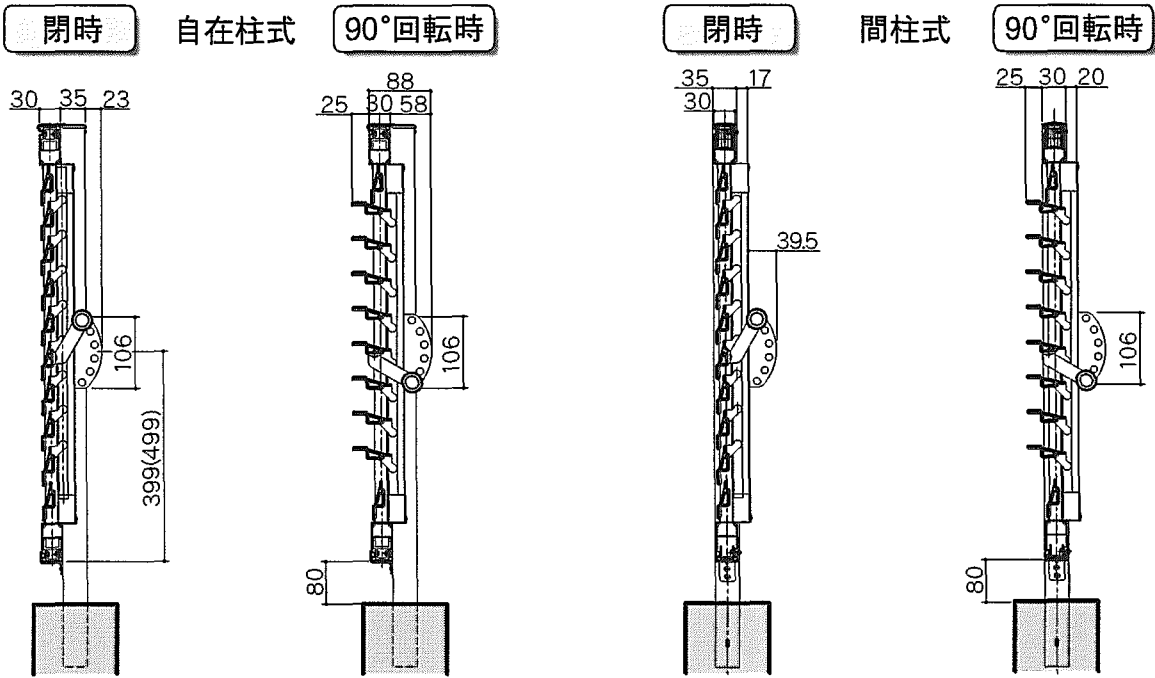


●90°角柱



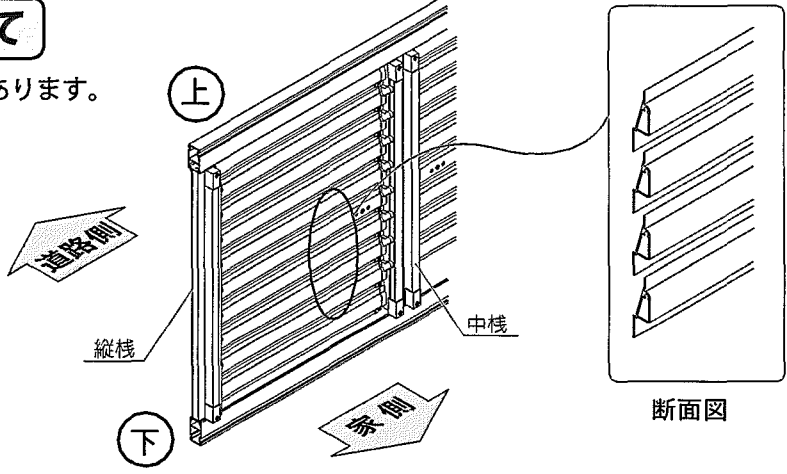
注意 自在柱式の場合(1段柱、2段柱、3段柱)は、柱取付け位置に制限があります。以下の位置には柱を取付けできません。
 ※①フェンス本体両端から50mmのヶ所。
 ※②フェンス本体中央部200mmのヶ所。

●フェンス断面図



フェンス本体について

●下記フェンス本体には上下があります。ご注意ください。



柱の設置(自在・間柱)

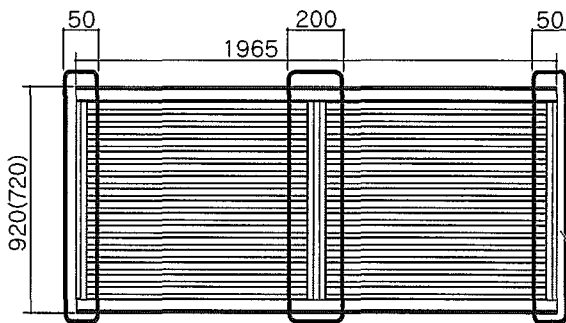
! 自在柱式の場合、柱をフェンスの連結部・端部より 300mm 以内に設置してください。

! **注意** 自在柱式の場合(1段柱、2段柱、3段柱)は、柱取り付け位置に制限があります。以下の位置には柱を取付けできません。
 ※ ①フェンス本体両端から50mmのヶ所。
 ②フェンス本体中央部200mmのヶ所。

! **注意** 風当りの強い場所に目隠しタイプのフェンスを設置する場合は、柱間隔を1000mm以内にしてください。

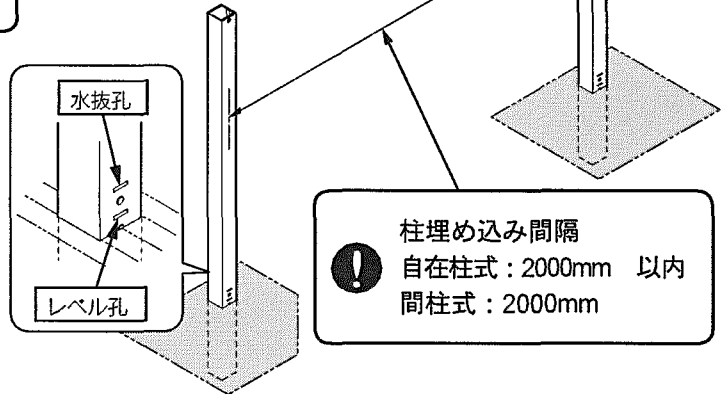
! 地下埋沈物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置をきめてください。

! レベル孔を目安にしてください。



納まり図で柱の埋め込み位置やレベルを確認し、柱を設置してください。

! 位置とレベルを合わせてください。

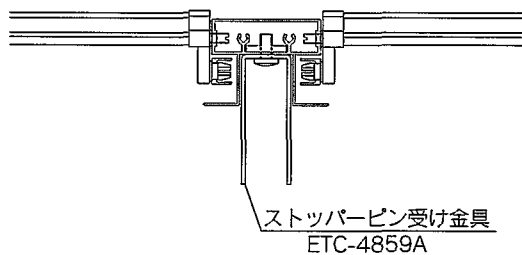


! **注意** ※3段柱をご使用のお客様へ
 最上段に本商品をご使用になられる場合、操作部が高所になりますので、お確かめの上取付けてください。
 (h:10×3段の操作部の高さは、G.Lより2460mmの高さになります。)

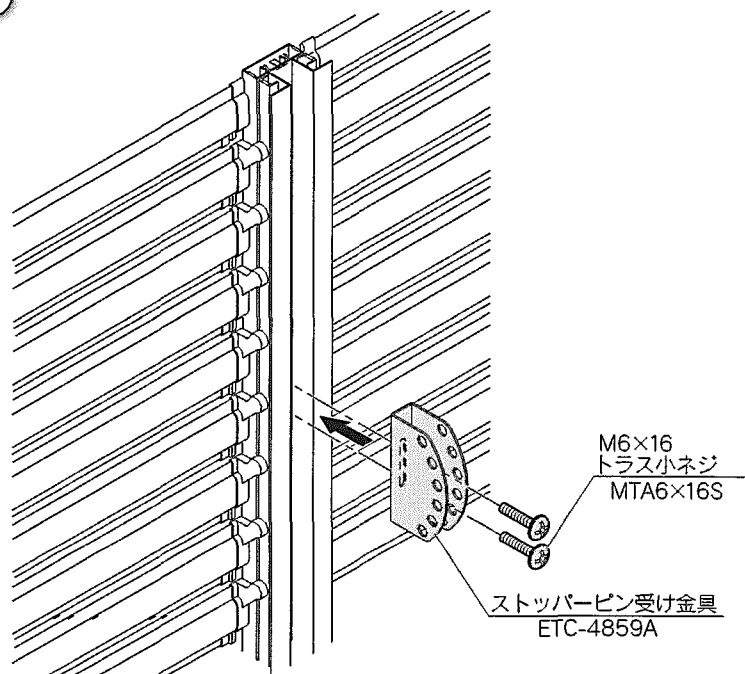
アミ掛け部の寸法内には自在柱が取付けられませんので、避けて取付けてください。

ストッパーピン受け金具の仮止め

① フェンス本体にストッパーピン受け金具をトラス小ネジM6×16にて仮止めしてください。



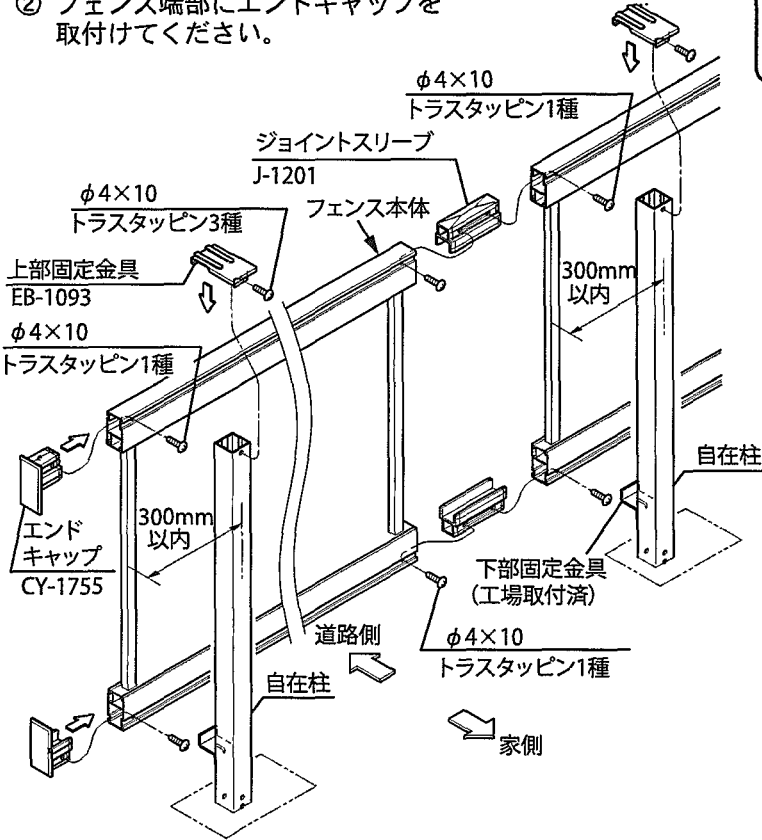
! インパクトドライバーを使用しないでください。



自在柱式フェンス本体の取付け

直線部の取付け

- ① フェンス本体を上・下部固定金具で固定してください。(フェンス本体をジョイントスリーブで連結しながら、受け金具に乗せ、上部固定金具で固定してください。)
- ② フェンス端部にエンドキャップを取付けてください。

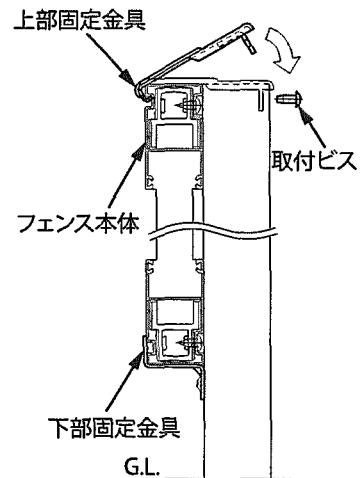


注意 自在柱式の場合(1段柱、2段柱、3段柱)は、柱取付け位置に制限があります。以下の位置には柱を取付けできません。

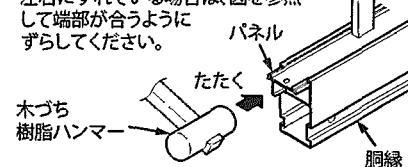
- ※ ①フェンス本体両端から50mmのヶ所。
- ②フェンス本体中央部200mmのヶ所。



柱をフェンスの連結部・端部より300mm以内に設置してください。



- 上下胸縁とパネルを仮止めするため、カシメてあります。左右にずれている場合は、図を参照して端部が合うようにずらしてください。



コーナー部の取付け

- コーナー部は柱2本建てとし、格子付コーナーヒンジまたは目隠しコーナー継手を取付けてください。



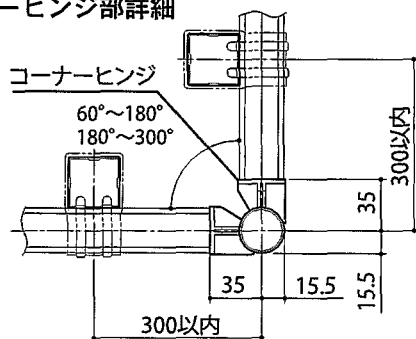
注意 自在柱式の場合(1段柱、2段柱、3段柱)は、柱取付け位置に制限があります。以下の位置には柱を取付けできません。

- ※ ①フェンス本体両端から50mmのヶ所。
- ②フェンス本体中央部200mmのヶ所。

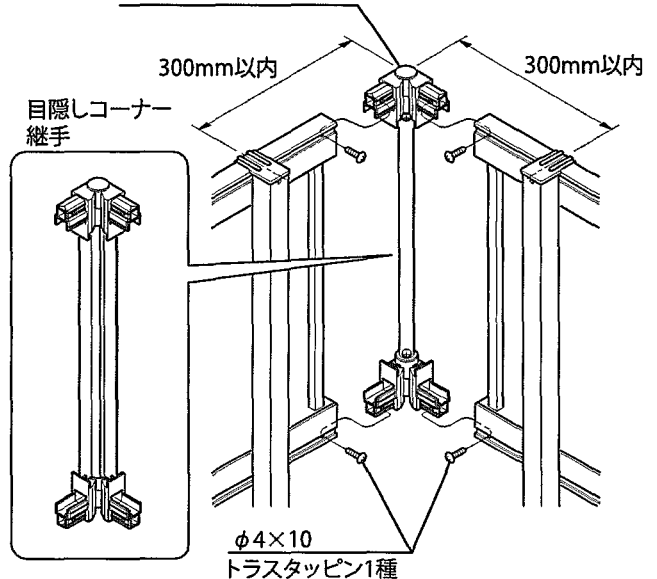


柱をコーナー部より300mm以内に設置してください。

- コーナーヒンジ部詳細



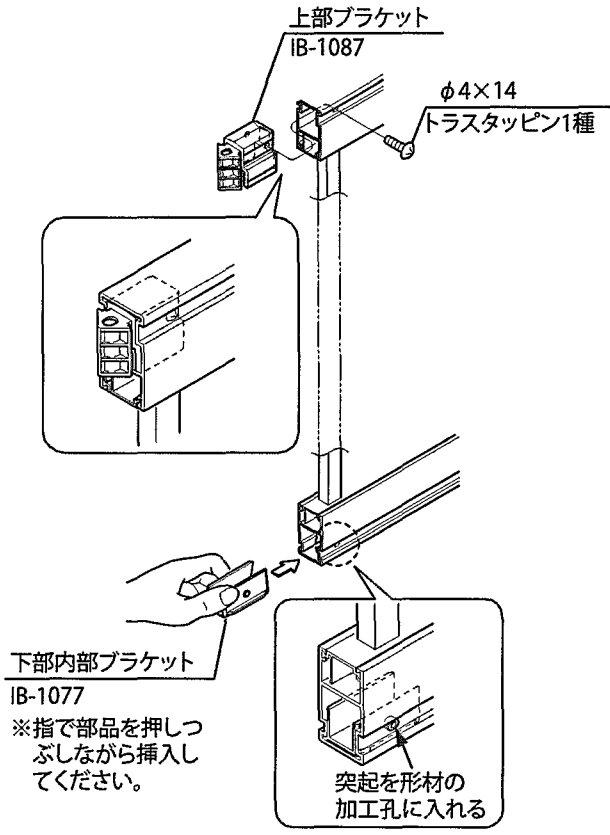
格子付コーナーヒンジ



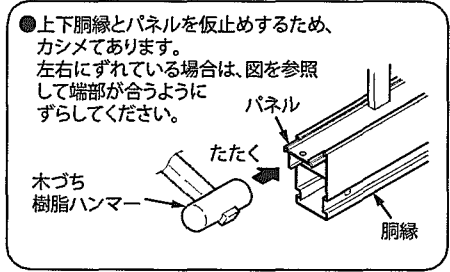
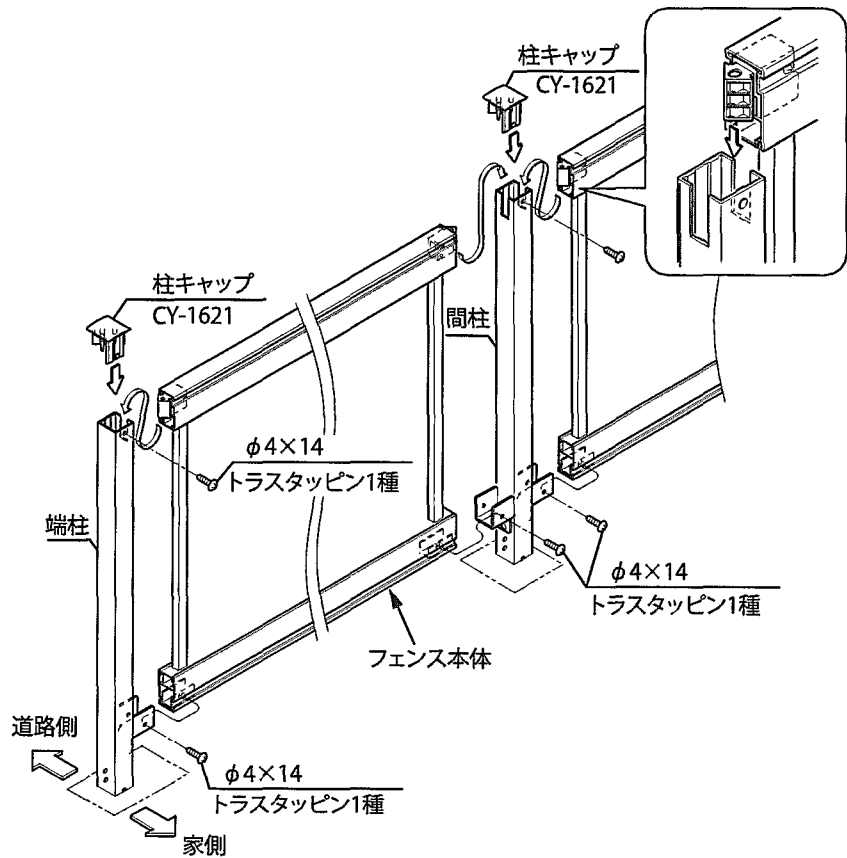
間柱式フェンス本体の取付け

直線部の取付け

- ① フェンス本体の上胴縁に上部ブラケットを仮止めしてください。
- ※ 取付ビスを強く締め付けると、上部ブラケットや柱キャップが柱に取付けにくくなる場合があります。
- ② 下胴縁に下部内部ブラケットを取付けてください。



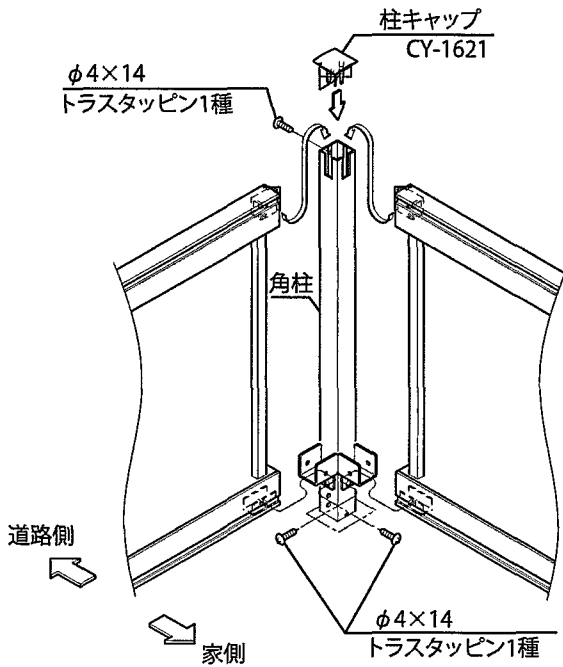
- ③ 上部ブラケットを上から柱の切欠きに合わせて差し込み、フェンス本体を柱に取付けた後、柱キャップを嵌めてください。
- ④ 各ビスを締め付けてください。
- ⑤ 1スパンを組み立て後、順次フェンスと柱を同じ要領で組み立ててください。



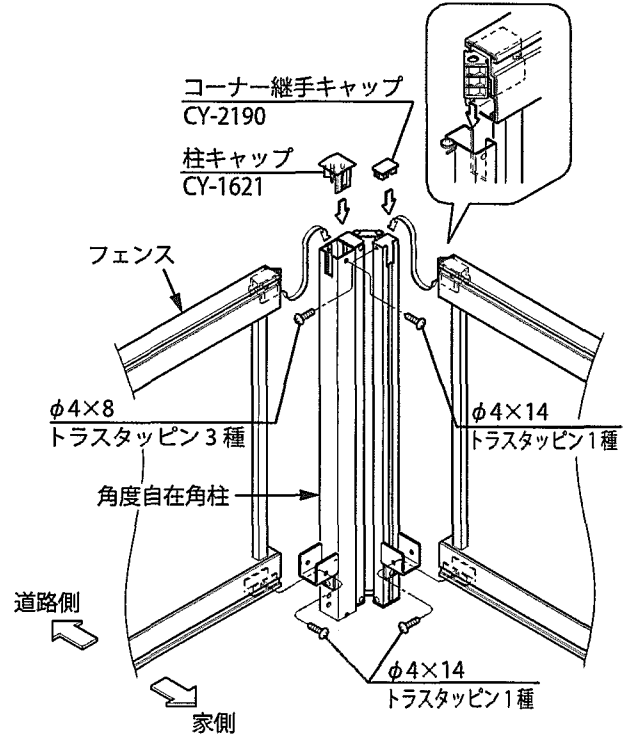
間柱式フェンス本体の取付け

コーナー部の取付け

● 90° 角柱部



● 角度自在角柱部 (60° ~ 180°)



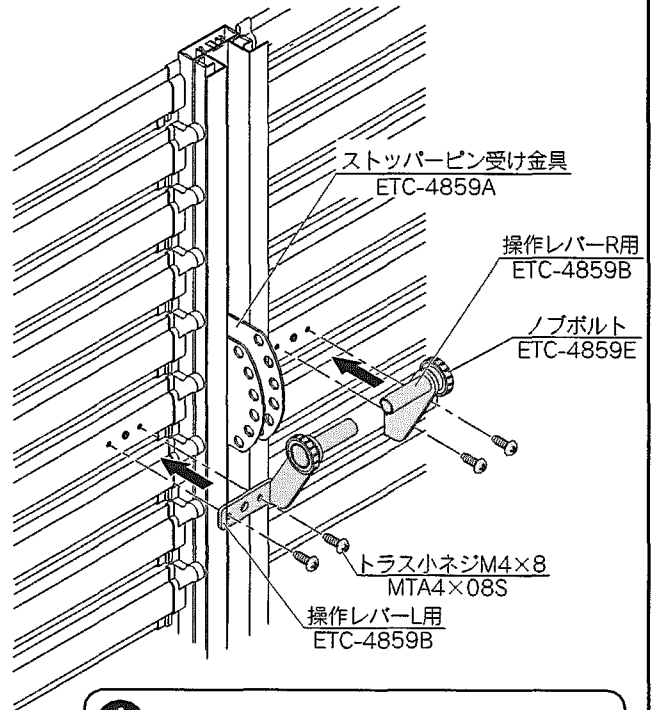
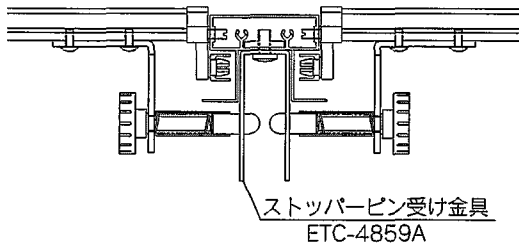
取付方法

部品の仮止め

- ① 取付部品を仮止めし、動作確認を行なってください。動作確認ができましたら、本締めをしてください。

! インパクトドライバーを使用しないでください。

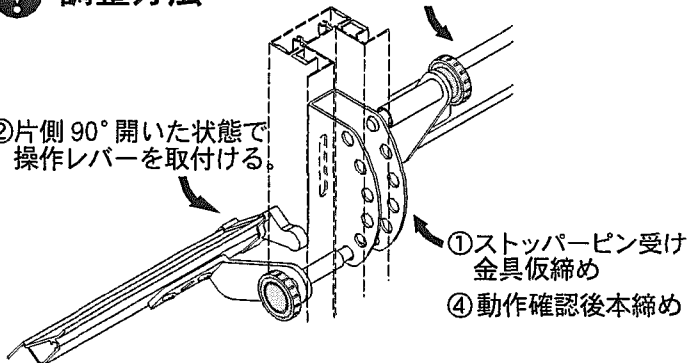
- ② 操作部品の動作調整後、取付ネジを本締めしてください。



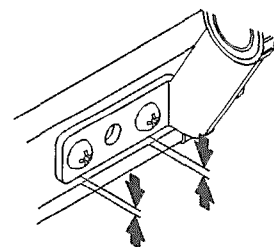
調整方法

③ 片側0°閉じた状態で取付け

- ② 片側 90° 開いた状態で操作レバーを取付ける。

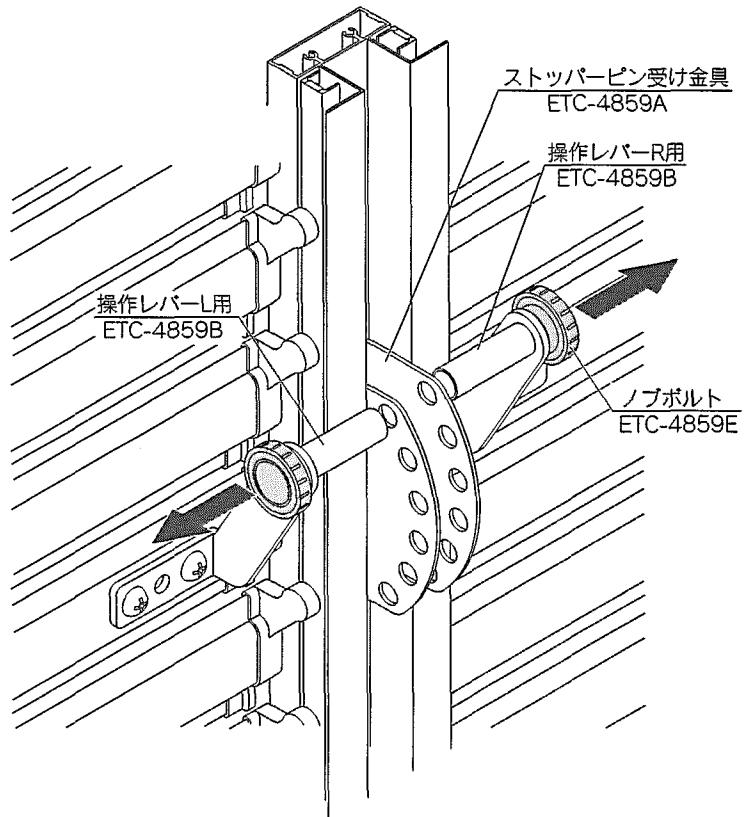
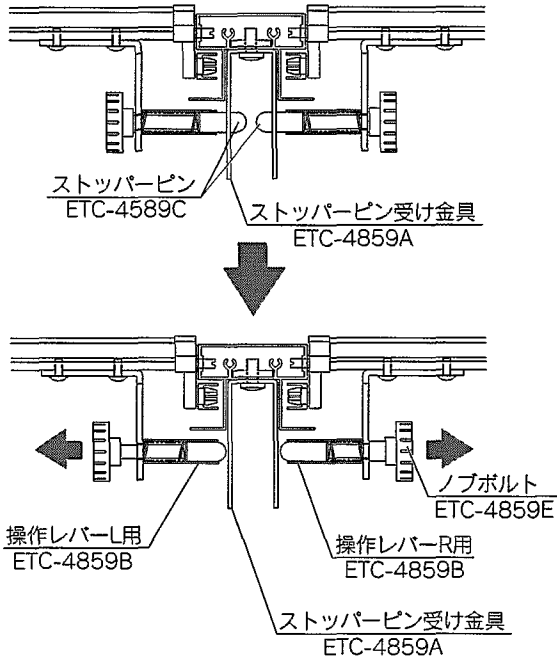


- !** 操作レバーとフェンス本体のルーバーは必ず平行に取付けてください。



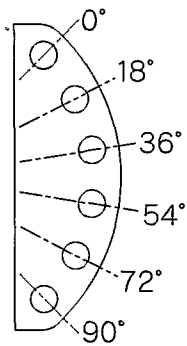
操作方法

- ① ノブボルトを外側に引くと、ストッパーピンがストッパーピン受け金具から外れます。

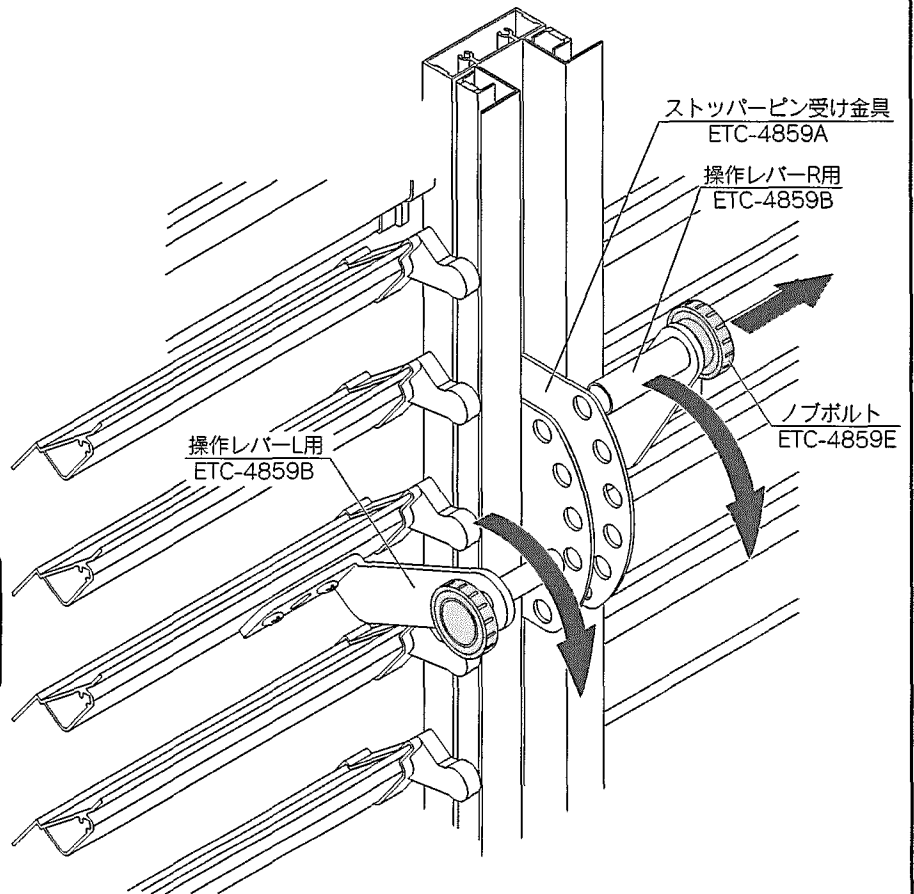
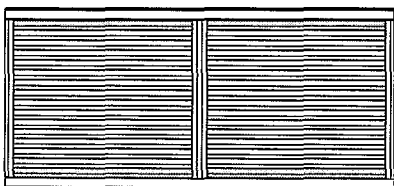


- ② ノブボルトを引いた状態のまま図のようにノブボルトを上下に動かして、ストッパーピン受け金具の穴のあいている位置で、ノブボルトを離しストッパーピンを固定してください。

- ③ ストッパーピン受け金具の穴のあいた位置で、ルーバーの角度が調節できます。



一番上と一番下のルーバーは可動しません。



切り詰め方法

注意

中棧には操作部品が取付く為、中棧側からの切り詰めはできません。必ず両端の縦棧側から切り詰めを行なってください。

- ① 上・下胴縁を左右どちらかにスライドさせて取り外します。
- ② M4×25ナベタッピン2種を外して上下アタッチメントを取り外してください。
- ③ 縦棧を外し、ルーバーブラケット、ルーバー固定ブラケットを外し回転軸をドライバーで緩めてルーバーから取り外してください。

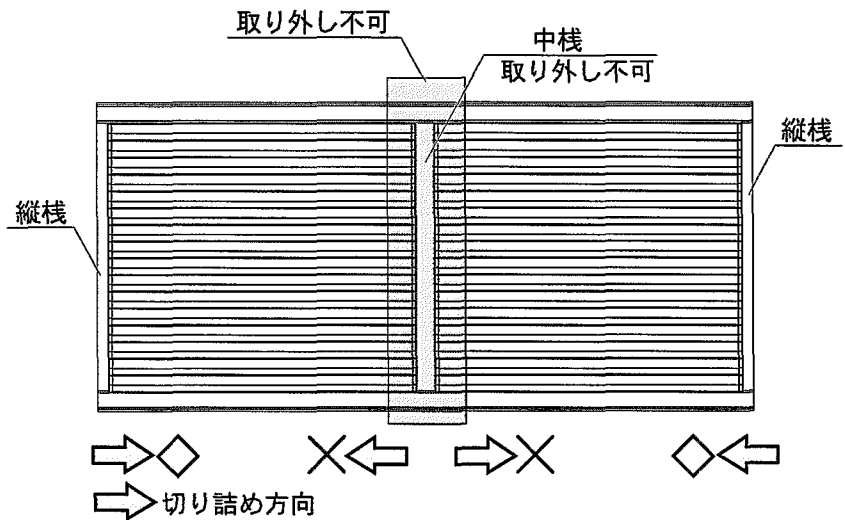


ルーバーブラケットと連結バーは連結させたまま、取り外さないでください。

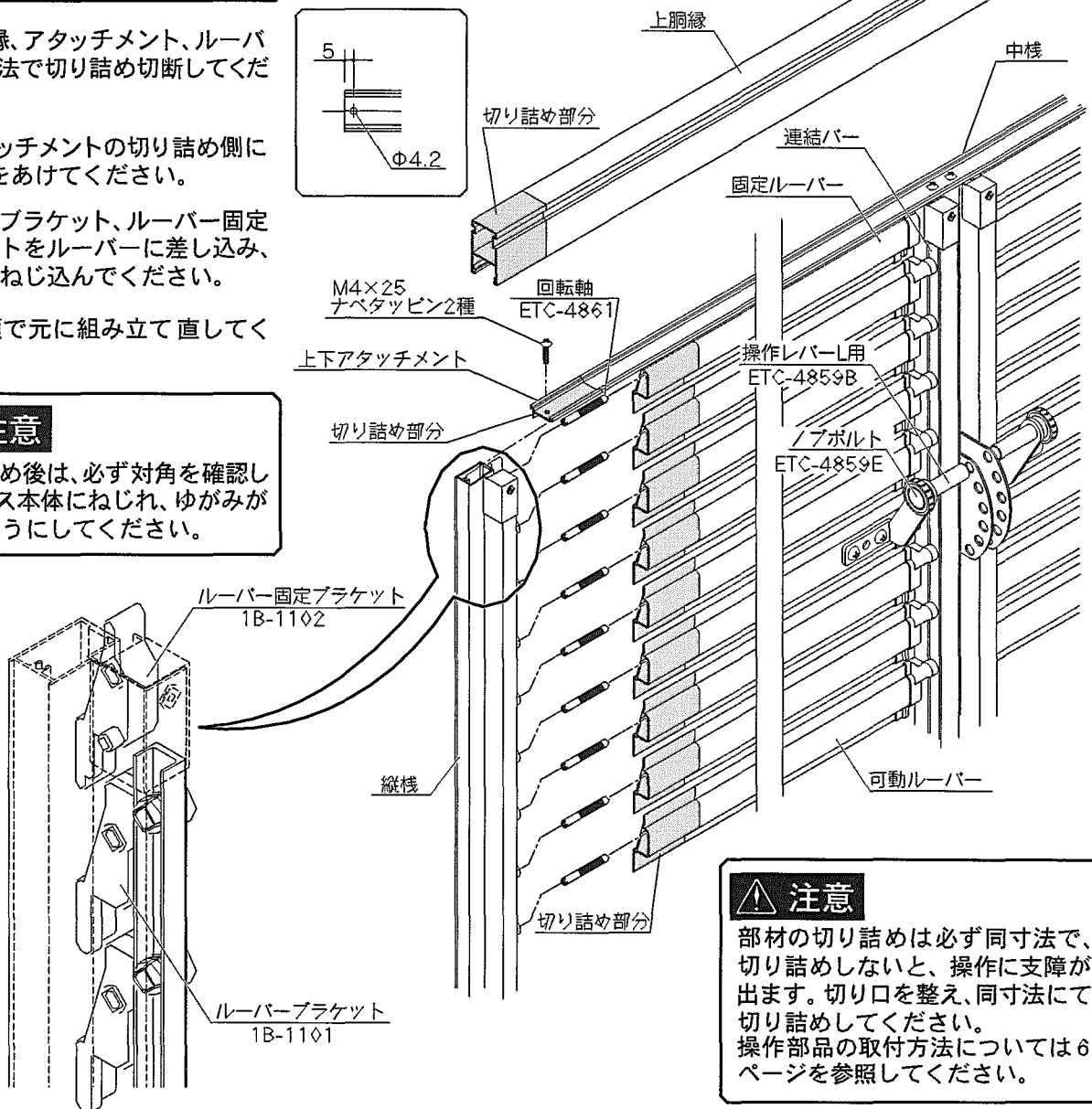
- ④ 上・下胴縁、アタッチメント、ルーバーを同寸法で切り詰め切断してください。
- ⑤ 上下アタッチメントの切り詰め側にΦ4.2穴をあけてください。
- ⑥ ルーバーブラケット、ルーバー固定ブラケットをルーバーに差し込み、回転軸をねじ込んでください。
- ⑦ 逆の手順で元に組み立て直してください。

注意

切り詰め後は、必ず対角を確認しフェンス本体にねじれ、ゆがみがないようにしてください。



◆中棧は必ず残してください。
◆中棧をはさんだ左右のルーバーの長さは、異なっても問題ありません。
縦棧は切り詰め側のみ、取り外してください。



注意

部材の切り詰めは必ず同寸法で、切り詰めしないと、操作に支障が出ます。切り口を整え、同寸法にて切り詰めしてください。
操作部品の取付方法については6ページを参照してください。